

神戸市会議員 **中央区**

かずゆき
よこはた 和幸

**4年間を総括し、
ご報告いたします**

議員の任期は4年です。
今予算議会(3月23日終了予定)が
節目となる4年目です。

4年前に「わたしはこういう政治をしたい」
と訴えてきたことへの進捗状況など
自身でチェックをいたし、通知表を
付けてみました。

達成できていない点も多くさらに
前へと進めていきたいと考えます。

次の神戸のために、引き続き
政策提言を続けて参ります。

政治への
思い

活動
報告

政策
ビジョン



<http://yokohata.net/>

後援会
NEWS

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通4-1-12 鯉川ビル8階
TEL : 078-335-0661 FAX : 078-335-0662
✉ : info@yokohata.net

よこはた和幸プロフィール

生年月日 1971年11月11日

家族 妻、長男、長女

尊敬する人 両親

経歴 1990年兵庫県立夢野台高校卒業

1995年関西学院大学法学部卒業

1995年日興証券株式会社

1998年衆議院議員公設秘書

2003年神戸市会議員(3期)

2012年衆議院総選挙出馬

2019年神戸市会議員(4期)



所 属 神戸市監査、保護司
小規模作業所ネットワーク神戸 NPO法人WA顧問
神戸早朝野球連盟 会長
少林寺拳法六甲道院 顧問
神戸市中央区剣道連盟 顧問
神戸ホストライオンズ 会員
神戸青年会議所 特別会員

趣 味 子どもと遊ぶこと、大林宣彦監督作品を見ること
好きな食べ物 お好み焼き、甘いもの全般



政策の通知書

福祉

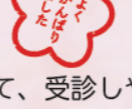
老々介護・認認介護のヘルプ体制の強化

数さえ把握できていない状況からのスタートでした。認知症またはMC I（軽度認知障がい）と診断された方を対象に「KOBE みまもりヘルパー」を実施しました。介護保険の対象外となる散歩の付き添いや話し相手など在宅生活にかかる支援を市独自の予算計上をいたしました。



がん検診率の向上

個別受診・集団受診を通して、受診しやすい環境整備に努めました。令和4年4月に集団検診のWEB予約システムを導入、10月には大腸がん検診汚e-KOBE申請におけるクレジットカードの導入を実現しました。アピアランスケアにおいて、所得要件を満たさないものについて市独自の予算を計上しました。医療用ウイッグだけでなくすべてのウイッグを対象にしました。更なる検診率アップに努めたい。



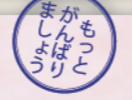
障がい児対策 親なき後対策の強化

就労に結びつくことが大事と取り組みました。「見守り支援員」「障がい者相談支援センター」「しごとサポートセンター」の人員・体制を強化を提案してきました。しかし自立や就労支援策として道半ばです。



介護する側の負担軽減

介護家族に対する身体的精神的負担の軽減を目的としたメニューを提案しているが実現は数少ない状況です。介護リフレッシュ教室を広げたのみです。



ポートアイランドの将来構想

神戸市はポートアイランドに将来構想を持っています。今回将来構想であるリボンププロジェクトを新設しました。島内では食事の場所や、若い世代が集えるような機能がありません。公共施設も少ない状況です。ポートアイランドの最大の弱点は高齢化です。市営住宅はじめ若い世代に優先的に入るような策を提案しています。医療産業都市とのコラボで島内人口を増加させ、若い世代の意見を取り入れて見違えるような島にしたい。



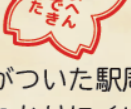
東川崎地区の浸水対策

東川崎・神戸駅周辺は、低地盤地域で高潮では海水の逆流や内水の氾濫が住民を苦しめて来ました。10年に1度の降雨に耐え得る雨水幹線やポンプ場の整備を決定しました。令和7年度の完成に向けています。現在掘削工事を続行中です。



JR神戸駅周辺整備

神戸駅前広場再整備は神戸と冠がついた駅周辺が寂しい状況です。湊川神社への参道もわかりにくい状況でした。令和3年10月には「神戸駅前広場再整備基本計画」が策定され、令和5年2月より基本設計に入っています。市長や副市長からは「見違えるようにします」と確約していただいています。



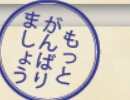
こうべ・湊・雲中小学校などの過密化対策

人口の増えている地域で小学校が過密化しています。こうべ小学校は令和4年11月から校舎新築工事に着手しています。自宅から学校まで2キロ近く通う生徒も多く柔軟な策を講じていかねばなりません。



商店街の活性化

中央区には多くの商店街があります。それぞれの個性を活かして集客したい。三宮再整備ではセンター街との連携、神戸駅再整備では元町商店街・宇治川商店街などの動線の確保が必要です。駅のバリアフリー完成に合わせて春日野道・大安亭・大日商店街などとも動線の確保や空き店舗対策を講じて参りたい。



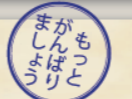
大倉山公園 諏訪山公園の活性化

神戸駅前広場再編に伴い同時に大倉山エリアの活性化せねばなりません。ホテルオークラとゆかりある公園です。カフェなどもっと多くの方に来ていただけるように、施設を整備したい。諏訪山公園は、園内トイレ改修やビナスブリッジの改修など行ってきました。また金星台の神戸遺産認定などあり魅力の発信に努めていきます。



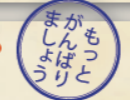
北野地域を日本遺産に

文化庁は100件程度の認定をしています。新規について募集を停止しています。国への要請を含めて北野の持つ多種多様かつ、平和の象徴となるまちの魅力アップをしていきたい。



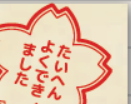
HAT神戸の魅力アップ

国が進める防災庁の創設について、神戸は誘致に名乗りをあげています。中心地は人と未来の防災センターになります。県や関西広域連合にも力を借りぜひ実現したいです。防災庁の誘致は、HAT神戸だけでなく神戸全体の経済基盤の強化にもつながっていきます。本会議や委員会などあらゆる場で後押しをしています。またアイススケートリンクの誘致も決定し、魅力をアップさせたい。



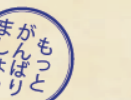
阪急春日野道駅のバリアフリー化

長年の地域の思いがやっと通じました。実際、駅ホーム柵が完成をしました。西改札口の新設やエレベーターなど2023年度末に完成いたしました。また周辺の商店街の活性化も必要となり、地域コミュニティ交通での足の確保により駅と住宅地のアクセスを確保したいと考えます。空き店舗対策は補助金を使いながら新規参入者支援をしたいと考えます。



JR元町駅のバリアフリー化

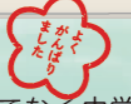
東口のエスカレーターなどのバリアフリー化については、令和5年度より市内の鉄道事業者「鉄道駅バリアフリー料金制度」を導入することから、令和9年度末までに着手する方向となっています。西口から北側への歩行者動線の確保が必要です。約6Mの高低差がありながら階段のみとなっています。県の再整備に重ねて強く要望しています。



教育・子育て

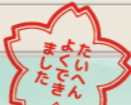
中学校給食の早期実現

共働き世帯の増加から、家庭弁当でなく中学給食のニーズが高くあります。全員喫食に向けて走り出しています。1日37,000食の確保に向けて給食業者サウインド調査など終了し、道筋が見えたところですが、実施時期など加速させねばなりません。



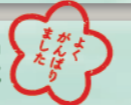
待機児童の解消

去年は3万人の保育定員が必要でした。待機児童数はゼロです。保育所・認定こども園、小規模保育所の新設・既存保育所での分園、定員増など行い人数の確保をしました。まだ保育ニーズのミスマッチもあります。保育送迎ステーションなど保護者に寄り添う策をさらに充実させたい。



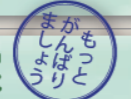
病児・病後児保育の充実

22箇所の整備を行いました。また保護者の利用向上に資するネットによる予約システムの提案をしています。地域格差が顕著になっていますので是正を進めたい。



放課後児童クラブの充実

毎年17,000人のニーズが見込まれています。出来るだけ学校内での場所の確保するため努力してきました。児童館や学童保育コーナーだけでは対応できない時は、学校内の施設の改修など行うようにしています。地域格差がまだまだ多い状況ですので、解消に努めていきたい。



経済

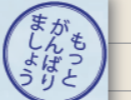
神戸夜市・夜型観光の実現

神戸の観光の弱点は、観光客1人あたりの消費金額が大阪・京都より少ないことです。夜型観光を強化することが宿泊客増に結び付きます。令和4年度に「神戸夜市」は3件採択されました。毎日花火やイルミネーションなど夜型観光をもっと推進します。議員団の会議でふと頭によぎった言葉の「神戸夜市」が採用されたのはうれしい限りです。



特区を活かした医療産業都市の充実

370社の医療産業関係の集積や、12,000人の雇用を計ってきました。神戸空港の国際化でさらに企業の誘致を計っていききたい。スパコン「富岳」や先端医療財団などと連携を深め世界トップレベルの医療集積を目指したい。世界初のIPS細胞などもっと神戸は出来るはずと感じています。また市民還元も考えていかねばなりません。



自分なりに整理をいたしました。達成できた分野もありますが、まだまだ課題が多い分野もあります。

今後も、地域を歩き、地域の皆さまの声をしっかり聞き、地域に根ざした活動から、さらに神戸をバージョンアップして参ります！



報告する義務！

私の報酬は市民の皆様からの税金です。私の雇用主は市民です。神戸市の状況や議会の状況を報告することが仕事であり、ピラや街頭、市政報告会などで常日頃から**報告することが義務**だと考えます。

また、政治家が何をしているのか見えないと言われます。

私はOPEN神戸を掲げ、政治家の見える化を推進

します。



市政報告会を各地で開催

議員をよく先生と呼びます。しかし議員は先生ではありません。時代は変わりました。私を呼ぶときは先生でなく、よこはた君、よこはたさんと呼んでいただければ嬉しく思います。

永田町の常識は非常識と呼ばれます。まだその風潮は残っています。議員は一般の感覚や目線が大事です。奢ることなく

市民の市民による

市民のための市政を
続行して参ります。



雨の日も風の日も街頭でご報告

POINT!

議会定年制への取り組み

立候補には年齢要件があります。参議院は30歳以上、地方議員・衆議院は25歳以上です。責任能力や経験値からの理由です。下限は設定されても上限はありません。一部の政党が定年制を導入していますが、民間や公務員同様に議会でも定年が必要と考えます。

これからの時代にはこれからの世代が責任をもって支えねばなりません。議会の定年制を議論していかねばと感じています。



check!

市民に寄り添う情報発信

新型コロナウイルスという未知のものとの闘いでした。私は、正面から立ち向かい、市民に寄り添うことが政治家としてすべきことと考えました。

正確かつ迅速な情報の発信です。罹患したときのどうすればよいか。ワクチンはいつ出るのか。多くのご相談を受けました。私はネットの得意でない世代へは紙媒体を通して情報発信にも努めてきました。これからも市民に寄り添い発信して参ります。



ゼロ!をめざす

虐待をなくすために

児童虐待について、命にかかわる事案も多く強化せねばなりません。24時間365日の電話相談や駆け込み寺的な役割のこども家庭センターの機能を強化したい。緊急性の高い場合の安全確保など権限の強化も必要です。また警察としっかり情報交換するなど連携を図らねばなりません。

DVについて、配偶者暴力支援センターは相談・カウンセリング・関係機関との調整を行っています。児童同様リスクの高い配偶者への聞き取りなど、常日頃の警察との情報交換など連携を強化させていきたい。

心のケアへの取り組み

早期発見・早期治療につながるように、かかりつけ医と精神科医との連携システム「神戸G-Pネット」があります。先駆的な策ですがさらに普及したいと考えます。ゲートキーパーの養成も必要です。自殺未遂者支援としても、こころの健康センターに自殺対策連携推進員を配置して医療機関へのつなぎを行っていききたい。



いじめ防止への取り組み

いじめはネットの普及などによって内容も陰湿で複雑化しています。全国的にもいじめによる悲しい事件が多くあります。今年度はじめて小中学校で担任の複数化を試行的に行います。1人のこどもをチーム（4人程度）で複眼的に見ることにより未然に防止することが出来るようになります。試行的ですが、有効なものはどんどん取り入れて涙を流す子供をゼロにしたい。

ペットの殺処分ゼロへ

ペットは一度飼うと最後まで責任を持たねばなりません。また、やむを得ない事情があれば譲渡を探すことをせねばなりません。神戸市では、フェリシモと連携して、犬猫の譲渡や繁殖制限を促進して殺処分を減らす努力をしています。令和3年からしあわせの村において、こうべ動物共生センターを整備し、保護動物の譲渡を目的にオープンしました。NPO等とさらに連携を強化して家族であるペットのさっ処分をゼロにしたい。

